

第14回 国土セーフティネットシンポジウム  
災害に強いレジリエントな社会を目指して

次 第

■開会挨拶 岡田 義光（防災科学技術研究所 理事長）

■来賓挨拶 森澤 敏哉（文部科学省研究開発局 地震・防災研究課長）

■基調講演

- 阪神・淡路大震災、東日本大震災の教訓を踏まえ、今後の地震防災を考える  
藤原 広行（防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター長）

■講演

- 日本海溝海底地震津波観測網のリアルタイムデータを用いた津波即時予測の実現に向けて  
青井 真（防災科学技術研究所 観測・予測研究領域  
火山防災研究ユニット 地震・火山観測データセンター長）
- 「ゲリラ豪雨」等を引き起こす積乱雲の観測・予測技術開発  
岩波 越（防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット長）
- 南海トラフ巨大地震と首都直下地震へどのように備えるか  
－最新研究成果と新プロジェクトへの期待－  
金田 義行（名古屋大学 減災連携研究センター 特任教授）
- 府省庁・関係機関・自治体等の連携による情報共有とその活用  
臼田 裕一郎（防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター  
プロジェクトディレクター）
- あきらめない。揺れたら逃げる。より早く、より安全なところへ  
松本 敏郎（高知県黒潮町 情報防災課長）
- 神戸市の自主防災組織「防災福祉コミュニティ」の取り組み  
～阪神・淡路大震災から20年を迎えて～  
奥村 芳彦（神戸市消防局 予防部予防課長）
- 津波災害に備える・避難する  
大保 直人（REIC リアルタイム地震・防災情報利用協議会 理事長）

■閉会挨拶 早山 徹（REIC 会長）

司会 上村 良澄（REIC常務理事）